

飢餓対策ニュース

わたしから始める、世界が変わる

世界食料デー特集 P.2-5



お米一粒がもったいないと言われる食卓から

日本国際飢餓対策機構 理事長 岩橋竜介

巷には様々な外国語があふれています。生活に必要なものの多くを輸入に頼らざるを得ない日本にとって、また諸外国からの観光客が増えている現在、ある意味で当然のことかと思えます。しかし日本が世界に発信し、定着している言葉も少なくありません。例えば「カラオケ」。「交番(KOBAN)」。「津波(TSUNAMI)」もそうです。もう一つ付け加えるべきは「もったいない(MOTTAINAI)」でしょう。ケニアの元環境大臣であったワンガリ・マータイ女史が日本でこの言葉と出会い、その言葉の奥深さに感動し、いま世界に必要なのはこの「MOTTAINAI」の精神だとして、国連でこの言葉を共通語にしようと提唱したのです。

その我が国において「もったいない」は聞かれなくなっているように感じるのです。私は自分が嫌いなおかずでも、残したら「もったいない」と母に叱られました。茶碗にご飯粒が残っていると「もったいない」といわれ、最後の一粒まで食べました。近頃は生活のスタイルの変化からか、「いただきます」も「ごちそうさま」もない食卓が、ごく普通の家庭でも増えてきているそうです。身近な食卓の変化が、食べることができる有り難さや、食べ物が与えられている感謝、それを作ってくださった方々、いやそれらすべてを

備えて下さる神様に対する「ありがたい」という思いが廃れていってしまう原因の一つになっているのではないかと思います。

当機構の活動に携わるようになって、さまざまな国を訪問する機会が与えられ、実に素晴らしい経験をさせていただきました。その中で、やはり忘れられないのは某国の最貧と言われる地域で懸命に生きる子どもが、提供されたわずかな給食を、自分も食べたいであろうに、一部を残し自分の弟妹に分かち合っている姿でした。感謝の祈りをささげ、それを分かち合い、最後の一粒まで残さず食べている姿と、その時の笑顔。かつて私たちの国にもあった、物があふれる贅沢ではなく、少ないものでも分かち合う「豊かさ」を見ることができたのです。

今、心から思います。その豊かさを取り戻さねば、と。そしてそれは、私たち一人一人の小さな食卓から始まるのだと思います。小さな「もったいない」から分かち合いは生まれ、世界が真の豊かさに笑える時が来てほしいと思います。我が家の食卓では「もったいない」が今も言われています。そうです。「わたしから始める、世界が変わる」なのです。



2016年度世界食料デーのために皆様から寄せられた募金は、総額14,694,687円でした。ご協力を心から感謝いたします。これらの募金は6ヵ国の子どもたちの教育、給食支援、地域の自立開発支援、農業支援などに用いさせて頂きました。そのうち3ヵ国の活動概要を報告いたします。



2016 世界食料デー 支援活動報告

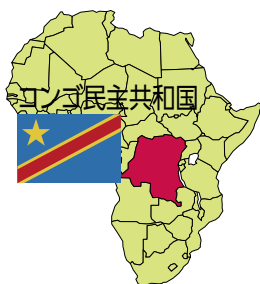


●コンゴ民主共和国

1日2食が確保できるまでに

～ 農業支援・自立開発支援 ～

2013年、紛争から逃れた人たちは避難先のルブンバシから東部のプエト地域に移り、地域政府から譲りうけた土地で農業を続けています。JIFHはハンズ・オブ・ラブ・コンゴと協力して、この国内避難民の人たちの心と身体の支援を行っています。



以前は1日に1食を得ることも困難でしたが、今では1日2食を確保することができるようになってきました。



主食のメイズに加えて、野菜やピーナッツなどの換金作物の栽培や養豚も軌道に乗りつつあります。また子どもたちの授業料と制服、学用品の支援を受け、50人の子どもたちが学校に通えるようになりました。村ではコミュニティ教育支援計画を立て、数年

後には自分たちの手で子どもたちを学校に通わせることを目指しています。

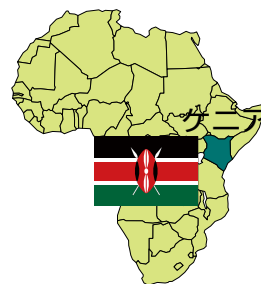
ルバア村から始まったこの取り組み（VOC）は、チャンブとルンキンダという近隣の2つの村へと広がっています。村人自身が地域の変革をリードしていくことができるよう、ハンズ・オブ・ラブ・コンゴは年2回リーダートレーニングを実施しています。

●ケニア共和国

学校給食を自分たちの力で

～ コミュニティ開発支援 ～

ケニアは、東アフリカの赤道直下に位置していますが、国土の大部分は標高が高いため、年間平均気温は19度の乾燥した高原サバンナ地帯となっています。東アフリカではもっとも経済の発達している国と言われてるにもかかわらず、貧富の格差が深刻な問題となっています。



貧困層と呼ばれる人たちが暮らすスラムでは、インフラ・生活環境ともに劣悪で、不安定な雇用状況の中、1日2ドル以下で生活している家庭がほとんどです。HIV/AIDSの影響もあり、片親を失くしたり孤児になったりしている子どもたちがたくさんいます。やむなく路上に出て生活する子どもも多く、教育の機会は限られています。

こうした子どもたちに学校教育と給食を提供し、地域の将来を担う子どもたちの育成を通して、地域の状況を改善しようと運営されている、“シーブケア学校”に協力して、JIFHは学校給食・教育支援を行っています。

2016年度JIFHは、まずは学校給食を自分たちの手で賄うことを目指して人々が提案した、バスプロジェクトへの支援を開始すると共に、バス事業が安定し、その運用益だけで学校給食を支えることができるまでの間、学校給食支援、教育支援を継続しています。

.....

●フィリピン共和国

地域主導の開発への第一歩

～ 自立開発支援 ～

フィリピンのミンドロ島は、フィリピンで7番目に大きな島で、首都マニラのあるルソン島の南に位置しています。住民の多くは、農業で生計を立てていますが、厳しい自然環境のため生活は苦しく、自立のため



の支援を必要としています。特に少数民族である、山岳民族マンヤン人の住むシド村では、アクセスの困難さから、教育や医療のサービスを十分に受けることの出来ない人々が多くいます。

JIFHの現地パートナー、ハンズ・オブ・ラブ・フィリピンは、この地域で人々の自立と子どもたちの教育支援を行なうため2008年に設立されました。2015年からは、地域の豊富な自然資源を活用し収入向上に繋げるビーズプロジェクトや石鹸プロジェクトを実施してきました。村の女性を対象に、手作りのビーズや石鹸の質を向上させるためのトレーニングを実施すると共に、子どもたちには奨学金による教育支援を行ってきました。

2016年には、関係づくりを続けてきたソコロ県マイ地区でリーダーシップトレーニングを実施し、新たにマンヤンの村での地域主導の開発（VOC）の歩みが始まりました。JIFHはハンズ・オブ・ラブ・フィリピンを通して地域の人々に寄り添い、人々が行う自立への取り組みを支援していきます。

2016年度 世界食料デー 募金使途

収入	金額	支出	金額
2016年 世界食料デー 募金総額	¥14,694,687	募金送付先	
		バングラデシュ：子ども教育支援・自立開発支援	¥1,002,600
		ボリビア：子ども教育支援・自立開発支援	¥962,600
		コンゴ：農業支援・自立開発支援	¥4,551,100
		フィリピン：自立開発支援	¥4,255,800
		ルワンダ：子ども教育支援	¥1,107,200
		ケニア：コミュニティ開発支援	¥1,596,200
		事務所経費（講演者・現地報告者旅費）	¥338,787
		チラシ・パンフレット等印刷費用	¥880,400

2017世界食料デー

わたしから始める、世界が変わる

1981年、世界の食料問題を考える日として国連が制定した日、それが10月16日「世界食料デー」です。世界の一人一人と協力しあい、世界に広がる栄養不良、飢餓、極度の貧困を解決してゆくことを目的としています。

この日をきっかけとして、自分自身の生活を見直し、少しでも世界の人々と共に生きる生き方を実践しようとする人が増やされてゆくことが「世界食料デー」の願いです。日本国際飢餓対策機構もこの趣旨に賛同し、同じ思いを持って協働する全国の人々と共に行動してきました。今年も全国15地域27ヵ所で「世界食料デー大会」が開催されると共に、家庭で、学校で、職場でさまざまな取り組みが行われようとしています。

考えてみよう

共に生きる、こと

2017年世界食料デーのテーマは、「わたしから始める、世界が変わる…考えてみよう、共に生きること」。

途上国の過酷な環境の中で

生き抜く人々や幼い子どもたちに焦点を当て、人々がそこでいかに生き続けることができるか、そのために私たち一人一人が何をなし得るのか、「共に生きる」とは具体的に何を意味するのかを、この時少し立ち止まって共に考え、行動を起こしてゆきたいと願います。

人間としての尊厳の回復

飢餓と貧困に喘ぐ人々の多くは、物質的な欠乏ばかりでなく、人間としての尊厳をも同時に奪われています。人間として生まれてきたにもかかわらず、まるでそれを否定されるような環境や、極度の貧困の中で様々な搾取の対象として虐げの中に突き落とされています。支援活動がチャリティで終わらないためには、そのような方々が生き

続けるだけでなく人間としての尊厳をいかに回復していくかが、今日の課題です。

日本国際飢餓対策機構は、「善隣共生」という理念を大切にしています。私たち一人一人

が善い隣人となって人々と共に生きていくことを表しています。現地でのパートナー団体との密接な働きの焦点は、そのコミュニティに生きる人々がいかなる環境や状況の中にも絶望する事なく、すでに与えられている潜在的な資源を見出す目が養われ、それを認め活用する人々が育ち、その人々によって変革が促される働きです。そのためにもそこに生きる子どもたちの教育は不可欠のものです。教育は与えられた潜在的資源を賢く活用し、次の世代に継続されるために重要な要素です。

今年もこの働きを応援してください。そしてご一緒に飢餓と貧困と闘う人々と「共に生きるということ」を考え、手を差し伸べていきましょう。

(国内啓発総主事・田村治郎)



今年のWFD小冊子「なぜ飢餓になるのII」

あなたの1食分で募金協力を

募金は、主に以下のプロジェクトに用いさせていただきます

- ウガンダ : 子ども教育支援/自立開発支援
- コンゴ民主共和国 : 農業支援/自立開発支援
- ボリビア : 子ども教育/自立開発支援
- フィリピン : 自立開発支援
- カンボジア : 自立開発支援
- その他



2017 WORLD FOOD DAY

2017 世界食料デー大会 開催スケジュール

大 会		事務局TEL	開催日	時 間	主な内容	会 場
北海道	北海道	03-3518-0781	11月の予定	未定	講演（JIFH 木村カナ） 即売会（生産加工農家による）	調整中
宮城	仙 台	03-3518-0781	9/30 ㊥	13:30	講演（JIFH 近藤高史）、音楽プログラム パネルディスカッション（宮城の里親支援、こども食堂）	日本聖公会 仙台基督教会
	多賀城	03-3518-0781	10/ 1 ㊤	14:00	講演（いのちのパン昌浦泰巳／JIFH 近藤高史） ゴスペル音楽（ワンボイス with ジョン・ルーカス）	多賀城文化センター 展示室
福島	郡 山	024-946-2721	10/ 4 ㊤	14:30	講演（JIFH 伊東綾） 音楽（コーラス）、チャリティバザー	ミューカルがくと館
千葉	千葉北	03-3518-0781	9/30 ㊥	14:00	講演（JIFH 清家弘久）	アミューゼ柏プラザ
東京	Tokyo WFD+Gospel	03-3518-0781	9/23 ㊥	15:30	講演（JIFH 福地麻美）ゴスペル、ダンス フードバンク、ブース出展（フェアトレードなど）	お茶の水クリスチャンセンター 8F
神奈川	湘 南	03-3518-0781	10/14 ㊥	14:00	講演（JIFH 田村治郎）音楽（ヴァイオリン）	茅ヶ崎市長谷川楽器店 Cside サロン多目的ホール
愛知	名古屋	052-265-7101	10/21 ㊥	14:00	音楽とカンボジア訪問報告（JIFH 親善大使 ナイト de ライト）	名古屋文化短期大学・アセンブリホール
滋賀	近 江	077-579-3308	11/12 ㊤	13:30	講演（JIFH 近藤高史） 音楽（キッズ、ゴスペルクワイア、浜岡典子）	近江福音自由教会
京都	京都長岡	075-952-3439	10/ 1 ㊤	16:00	音楽とカンボジア訪問報告（JIFH 親善大使 ナイト de ライト）	長岡福音自由教会
大阪	@きりたん	06-6652-2091	9/28 ㊤	10:40	音楽とカンボジア訪問報告（JIFH 親善大使 ナイト de ライト）	大阪キリスト教短期大学
	八尾河南	072-920--2225	10/ 7 ㊥	14:00	現地報告／講演（ハンズオブラブフィリピン・エバ／酒井慶子） 音楽（キッズダンス、乾ファミリー他）	日本イエスキリスト教団 柏原教会
	東大阪	072-964-5144	10/11 ㊤	19:30	現地報告／講演（ハンズオブラブフィリピン・エバ／酒井慶子） 音楽プログラム	大阪シオン教会
	南大阪	0725-22-3585	10/14 ㊥	14:00	講演・現地報告（ハンズオブラブフィリピン・エバ／パノピオ） 音楽（CRUSH、泉大津市少年少女合唱団）絵画コンクール表彰	テクスピア大阪 大ホール
	北大阪	072-696-0347	10/22 ㊤	15:00	講演（JIFH 吉田知基） 現地報告（ハンズオブラブフィリピン酒井慶子）	高槻キリスト教会
奈良	奈良北	0742-23-7858	9/30 ㊥	14:30	音楽とカンボジア訪問報告（JIFH 親善大使 ナイト de ライト）	奈良福音教会
	奈良南 ファミリーフェスタ	072-920-2225	10/15 ㊤	14:30	講演・現地報告（JIFH 清家弘久） 音楽（ピアノ演奏 Malico）	橿原ルーテル教会 （近畿福音ルーテル教会）
兵庫	宝 塚	0797-73-6076	10/ 8 ㊤	14:30	講演（JIFH 清家弘久）、ミニコンサート 現地報告（ハンズオブラブフィリピン・エバ／パノピオ）	宝塚栄光教会
	芦 屋	0797-31-2093	10/15 ㊤	14:00	講演(JIFH 近藤高史)現地報告(ハンズオブラブフィリピン・エバ パノピオ) 音楽（県立芦屋高校吹奏楽部）、国際児童画展	カトリック芦屋教会
山口	関 門	082-546-9036	10/29 ㊤	16:00	講演・現地報告（JIFH田村治郎） 音楽（Shoko Peppa）	梅光学院中学校・高等学校山田記念ホール
鹿児島	鹿児島	03-3518-0781	10/13 ㊤	19:00	講演（JIFH 鶴浦弘敏）報告（YMCA 熊本、フードバンクかごしま、かごしまホームレス生活者を支えあう会）、ジャズ・松本圭史	サンエールかごしま
沖縄	南 部	098-943-9215	10/15 ㊤	16:00	講演（JIFH田村治郎） ゲスト（アイモコ）	浦添市てだこホール 市民交流室
	久米島		10/16 ㊤	19:00	講演（JIFH 田村治郎） 音楽（JIFH 親善大使 Manami）	具志川農村環境改善センター
	八重山		10/17 ㊤	19:00	講演（JIFH 田村治郎） 音楽（JIFH 親善大使 Manami）	石垣市健康福祉センター視聴覚室
	宮 古		10/19 ㊤	19:00	講演（JIFH 田村治郎） 音楽（JIFH 親善大使 Manami）	働く女性の家 ゆいみなー
	北 部		10/20 ㊤	19:00	講演（JIFH 田村治郎） ゲスト（アイモコ）	名護市労働福祉センター
	中 部		10/21 ㊥	19:00	講演（JIFH田村治郎） ゲスト（アイモコ）	美浜メディアステーションスタジオ

※日程・会場など変更する可能性があります。事前に各大会事務局あるいは東京事務所までお問い合わせください。※ JIFH= 日本国際飢餓対策機構

ポスター掲示しませんか



A2サイズ (594×420mm)
必要な方は東京事務所まで
電話 03 (3518) 0781

2017世界食料デー大会 講演・現地報告者一覧



♪ JIFH親善大使

Manami (歌手) …沖縄: 久米島・八重山・宮古大会

ナイトdeライト (ロックバンド) …名古屋・@きりたん・奈良北、京都長岡大会



田村治郎



清家弘久



近藤高史



吉田知基

- ◆ 田村治郎 啓発総主事
- ◆ 清家弘久 常務理事
- ◆ 近藤高史 特命大使
- ◆ 伊東 綾 緊急支援

- ◆ 吉田知基 広報ディレクター
- ◆ 鶴浦弘敏 広報主任
- ◆ 福地麻美 啓発ディレクター
- ◆ 木村カナ 啓 発



Manami



ナイトdeライト



続報・南スーダン緊急食料支援

6月に発表された、総合的食料安全保障レベル分類 (Integrated Food Security Phase Classification)によれば、南スーダンの人口の半分以上にあたる、600万人が深刻な食料不安の状態にあります。また、110万人の子どもが急性栄養不良に陥っており、そのうち十分な栄養を摂取している子どもと比較して死亡する確率が9倍高くなるとされる、重度の急性栄養不良に29万人が陥っています。(2017年7月ユニセフ報告より)

依然として600万人が深刻な食料不足 急性栄養不良により子どもの死亡率が9倍に

飢餓対策ニュース6月号やJIFHのホームページで、緊急食料支援のための募金をお願いした南スーダンでは、上記のように依然として大へん危機的な状況が続いています。状況が毎日刻々と変化するためFH南スーダンの職員は、安全を確保しながら必要な人々に必要な食料を届ける方法を日々模索しながら支援を続けています。必要経費も大きく変化し、現在インフレ率が700%に跳ね上がっているということで、この事だけでも支援活動にどれほど大きな影響を

与えるか想像に難くありません。FHウガンダが従事しているウガンダ北部の難民キャンプから、南スーダンから逃れてきた難民の写真が届きました。国際飢餓対策機構 (FH) は引き続き南スーダン国内からの写真の入手を試みています。入手でき次第、改めて皆様と共有させていただきます。

緊急募金にご協力を！

危険と隣り合わせの困難な状況の中、FH南スーダンの職員は、何とか食料を届けようと活動して

います。深刻な飢えに苦しんでいる人々に確実に食料が届くよう支援するJIFHの募金目標は、300万円です。皆様のご協力をお願いいたします。

募金集計：7月末現在 1,486,361円

世界の飢餓を終わらせるための
ハンガーゼロサポーター
募集中！

1,000円(ハンガーゼロ募金1口)で、4人に1ヵ月分の食料を届けることができます。



3,000円(ハンガーゼロ募金3口)で、2世帯に1ヵ月分の食料を届けることができます。

8頁にお申し込み欄
ウェブからも募金可

(注)ハンガーゼロサポーターは継続支援となります。
南スーダンのために「一時募金」を希望する方は、
①郵便振替②ウェブサイトでクレジットカード利用の方法をお選びください。(8頁に記載)



このページの写真は、南スーダンからウガンダに逃れてきた人々



1月ボリビア



8月ルワンダ



ご利用ください 国際協力カレンダー

当機構が支援している国々の子どもたちや人々の写真（当機構スタッフなどが撮影）を用いたオリジナル版、2018年の国際協力カレンダーが出来上がりました。

毎年多くの皆さまにご利用頂き、開発途上にある国に暮らす人々の現状に思いをはせていただいています。感謝申し上げます。

2018年版は「希望」をテーマに編集しました

日々の生活に窮し、将来や未来を見つめる余裕もない環境に暮らす子どもたちが、チャイルドサポーター、ハンガーゼロサポーターの皆様によって、給食支援や教育支援を受ける機会を得ることで、希望が生まれその生活にも変化が見られるようになってきています。

今後さらに一人でも多くの子どもたちや、地域に暮らす人々の生活環境が改善され、夢、希望を持

てるようにと願っています。

12月 南スーダン

南スーダンは危機的な食料不足に陥っています。また約220万人の子どもたちは学校に通っていません。70%以上の子どもが教育を受けていないのです。学校の約3分の1は、武装グループにより攻撃されました。JIFHはFH南スーダンと協力して、飢えに苦しむ人々に食料を届けるために皆様に協力を呼びかけています。（P.6に報告）



▲制作段階でのサンプル版

お申込はこちらから

販売価格 税込1,080円（送料別）

株式会社キングダムビジネス
〒540-0026

大阪市中央区内本町1-4-12NPOビル402

TEL: 06-6755-4877

FAX: 06-6755-4888

◆①お名前 ②ご住所 ③電話番号
④購入部数

お届け先が異なる場合は、先様の①～④をお知らせください。

◆送料1部400円
（2部以上は800円から、宅配便のエリアによって変わります。お届けは国内限定）10月から順次発送。

※配送料金が改定され値上がりがしています。

◆サイズ：高さ510mm×巾364mm

◆お支払い方法：後払い
郵便払込で株式会社キングダムビジネスの口座へ。

申込者様と同じ名前を記入してください。異なりますとご入金の確認が出来ません。

**支援
にも**

販売収益の一部は日本国際
飢餓対策機構を通して緊急
支援活動に用いられます。

※当機構の各事務所では販売しておりませんのびる留意ください。



日本国際飢餓対策機構(Japan International Food for the Hungry: 略して JIFH)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、人財育成、海外スタッフ派遣、飢餓啓発などに活動を広げてきました。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、20カ国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころからだの飢餓」に応える活動をしています。



★Tポイントを利用して「南スーダン緊急食料支援」ができます。現在までに449518ポイント(円)のご協力(4347件)がありました。募金はTポイント募金で検索



この季節に最適なストール

バングラデシュから

貧困の中にある女性の生活向上を目的として作られたフェアトレード商品です。やわらかくて軽くてかさばらず、この季節にぴったりのストールです。

サイズ: 約55cm×約168cm

【特別割引価格】税込2,000円

ご希望のデザイン番号をお知らせください。(在庫が無くなり次第終了)

送料: 日本全国 1本400円

※JIFH会員、チャイルドサポーターは

送料無料(会員番号をお知らせください)

ご使用前に一度洗濯し糊を落として下さい。素材の性質上、寸法に若干縮みが生じます。

・お届けは日本国内に限ります。

・お支払い: 後払い 郵便局払込で株式会社キングダムビジネス口座へ。

販売収益の一部は日本国際飢餓対策機構を通して緊急支援活動などに用いられます。

【問合せ】キングダムビジネス

〒540-0026 大阪市中央区内本町1-4-12NPOビル402

TEL: 06-6755-4877 FAX: 06-6755-4888

メール: customer@kbwin-win.org

Web: キングダムビジネスで検索

不要な本やCDで国際協力を

JIFH愛知事務所では書籍やCD・ゲームソフトを換金して、飢餓・貧困に苦しむ人々の支援に用いさせて頂く「本deリンク」を行っています。詳しくは愛知事務所にお問い合わせください。

【この1年の実績】154,496円

(内訳: 本1,635冊、CD193枚、DVD51本)

7月30日、ナイトdeライト(JIFH親善大使)初のZEPP東京コンサートには、約1,500人が来会、メンバーの情熱溢れる演奏でライブは大成功を収めました。当日はご好意により、「ナイトdeライト専用/カンボジア研修参加レポート」のパンフレットを来会者全員に配布させていただきました。メンバーは今年の世界食料デー大会(一部地区)でも演奏と現地報告をしていただきます。(P.5参照)



ナイトdeライト
ZEPP 東京コンサート
JIFH親善大使
森 祐理さん
能登半島地震10周年記念行事



8月6日、石川県輪島市門前町での「能登半島地震10周年記念/森祐理コンサート」(前号巻頭言参照)には90名近くの方が来会。森祐理さん(JIFH親善大使)は歌とトーク(阪神淡路大震災の被災体験)で、近隣から来られた方々を励まされました。また10年ぶりの再会を喜ぶ姿もあり、温かいコンサートとなりました。

ハンガーゼロサポーターを大募集中!!

現在までに
4370口

今すぐ各種支援のお申し込みができます!!

●まず右の必要事項に記入して、点線の枠部分を切り取りハガキに貼って、下記の大阪事務所宛に郵送、又はこの頁をコピーして、ファクシミリで申し込みください。確認のための必要書類等を送らせていただきます。
お電話でも申し込みできます。各事務所までおかけ下さい。

- ☐ 南スーダン緊急食料支援のために一時募金として()円
- ☐ ハンガーゼロサポーターとして協力します。毎月()口 (1口1,000円)
- ☐ チャイルドサポーター(子ども1人4,000円)になりたいので説明書(申込書)を送ってください。
- ☐ 海外スタッフサポーターとして協力します。毎月()口 (1口1,000円)
- ☐ JIFHサポーターとして協力します。毎月()口 (1口500円)
- ☐ 郵便自動引落し申込書を送って下さい。
- ☐ その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。

フリガナ 氏名: 男・女

〒

フリガナ 住所:

(電話)

▼申込日: 年 月 日▼NL 326号

FAX・072-920-2155

★「南スーダン緊急食料支援」郵便振替の際は通信欄に「南スーダン緊急」と明記ください

■発行者 岩橋竜介

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.jifh.org/>
eメールアドレス general@jifh.org
フェイスブック <https://www.facebook.com/hungerzero>

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト

●郵便振替 00170-9-68590 / 日本国際飢餓対策機構

●他の金融機関からの自動振替 ●クレジット、デジタルコンビニ



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1
(広島) TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OOCビル517号室
(東北) TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782
愛知 〒460-0012 名古屋市中区千代田 2-19-16 千代田ビル3F
TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132
沖縄 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メゾン久米 202号
TEL (098)943-9215 FAX (098)943-9216
U S A Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605
TEL (510)568-4939 FAX (510)293-0940

毎月、飢餓対策ニュースを皆様にお届けするために、ひばり障害者作業所(八尾市)、生活愛、関西地区のボランティアの皆様が送付作業の協力をして下さっています。

「かざして募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル(株)経由となります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。